社協だより 萩

「赤い羽根萩にゃん。」と21地区のコラボ缶バッジを作成しました！

2022 10/1
Vol. 91

毎年10月1日から始まる赤い羽根共同募金は、社会的孤立や生活困窮世帯など生活課題を抱えている方、地域の中の支えあい活動をすすめる住民主体の団体、また災害時への備えなどとして活用されています。

共同募金活動をより身近に感じていただくとともに、地域の魅力を多くの方に発信していくことを目的とし、「赤い羽根萩にゃん。」と21地区のコラボ缶バッジを作成しました。地域のイベントや市社協本所・各事務所に用意していますので、200円以上の募金で1つ差し上げます。

一人一人の思いやりが地域の未来を支えています。つながり続ける地域・社会を目指して、今年度も皆さまのご協力をお願いいたします。

じぶんの町を良くするしくみ。
www.akaihane.or.jp
赤い羽根共同募金の配分により、発行しています。

就任のごあいさつ

新会長　小林（こばやし）　正史（まさし）

この度、萩市社会福祉協議会の会長に就任いたしました小林正史です。

前大島会長の構築された組織・システムを継承するとともに、市民ニーズに合わせた運営を心がけていきたいと思います。

また、本会の基本理念である「住みたい地域で　誰もが安心して　心豊かにその人らしく　暮らし続けることのできる地域づくり」を掲げ、地域と共に取り組んでまいります。

合併以降、少子高齢化が急速に進展する萩市において生活福祉課題は複雑多様化しています。コロナ感染症の終息も先行きが定まらないようで生活困窮者の増加、地域活動の制約など事業展開に大きく影響しているのが現状です。

地域の課題を把握することから始め、地域住民と一緒に解決策を考えるといった地域住民に一番近い相談相手、相談場所としてあたたかい存在である萩市社協を目指したいと考えています。

今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたしまして就任のご挨拶といたします。

退任のごあいさつ

顧問　大島　昌子

会長職の５年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金スタート!!

赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ」です。

皆様からのご寄付によって、萩市で行われている学校での福祉体験学習や地域見守り活動など様々な福祉活動に活かされます。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の長期化によって、街頭募金やイベント募金といった活動が縮小・中止するという影響も出ています。困っている方々を支え、萩市を良くするために、今年も赤い羽根共同募金活動に地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

今年の目標額　19,090,000円

一般募金（赤い羽根共同募金）：11,540,000円　／　歳末たすけあい募金：7,550,000円

皆様からお寄せいただいた募金は、次のように使われます。

- 福祉施設・団体活動事業　5,704,100円（29.9%）
- 福祉育成・ボランティア事業　5,455,100円（28.6%）
- 高齢者福祉事業　310,800円（1.6%）
- 歳末たすけあい事業　7,550,000円（39.5%）
- 障がい児者福祉事業　70,000円（0.4%）

募金のうち８割が萩市内の福祉活動に使われます。

令和3年度の募金総額は19,268,690円でした。

山口県共同募金会萩市共同募金委員会は、皆様からご支援いただいた募金を、自分のまちを良くするための活動（地域福祉やボランティア活動の推進等）に活用します。ご協力ありがとうございました。

助成を受けられた団体からのありがとうメッセージ

一　般　募　金　事　業

佐々並ひなまつり
佐々並婦人会（ひなの会）

各地区のサロンの方を中心にひな人形などの作成をしました。中山間地域の春を待ち遠しく思う中、まつりを通して、年齢問わず声を掛け合える場は地域の絆が深まるのではないかと思います。

ふれあい給食運営事業
むつみ地区社会福祉協議会

月に一度、ひとり暮らしの方の見守りを兼ねたお弁当の配食をしています。お弁当には小中学生の手書きの絵を添えています。

利用者からも好評で、今後もこの事業が継続できるよう頑張ります。

住民福祉講座
大島地区社会福祉協議会

介護予防の講座を開催しました。介護予防の大切さを知り、家で楽しみながらできる健康体操も教えていただきました。生活に役立つ講座を今後も開催していきます。ありがとうございました。

歳末たすけあい募金事業

ドリームキッズ　Xmas会
NPO法人ゆう・ゆう・はぎ

歳末たすけあい募金を受け、利用者全員にクリスマスプレゼントとしてお菓子の詰め合わせを送りました。子どもたちも大変喜び、施設としてもうれしい限りです。本当にありがとうございました。

萩市の皆様からの募金

⇩

萩市共同募金委員会

一　般　募　金	歳末たすけあい募金
戸別募金　子ども会募金 法人募金　街頭募金 職域募金　協　力　店など	戸別募金 街頭募金など

⇩

山口県共同募金会

1月集　計　　3月 助成決定　　今年12月 助成決定

⇩

A 県域助成	B 地域助成	C 歳末助成
県内の施設・団体に令和５年度中に助成	市内の施設・団体に令和５年度中に助成	年末年始に福祉を必要とされる方や事業に助成

A助成の申請は、毎年４月１日から５月31日までの期間中で、翌年度の事業が対象となります。詳しくは、山口県共同募金会のホームページをご覧ください。B・C助成の申請は、萩市共同募金委員会（萩市社会福祉協議会）にお問い合わせください。TEL：0838-22-2289

障がいは一人一人違うから寄り添う気持ちが大切
地域の方に、見守られ子育てをしてきました。

障害者基本法では「障がい者」とは身体障害、知的障害又精神障害があるため、継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける者と定義されています。（内閣府作成 障害者の範囲より）12月３日～９日は、「障害者週間」と定め、国民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設定されています。

障がい者福祉の理解を深めるため、知的障がいの息子をもつ川上地域在住の金子真紀江さんに、インタビューをしました。

息子さんについて

龍貴（りゅうき）（31）は、発達段階で、言葉がなかなか出てこない、なかなか歩かないとか、気になることがありましたが、周りからも「男の子は遅いよ」と声をかけられることもあり、「あ～、なんとなく違うな」と思いながらの日々でした。

地元の保育園に通いながら、ふたば園に通園したことで、同じ悩みを持つお母さんと話せる人ができたことは、気持ちのうえでとてもたすかりました。

子育てのなかで工夫してきたこと

今もですが…。シャツを着る時にどちらが前かわからなかったり、靴下を履くときに踵を上にして履いていたりすることがありました。自分のことは自分でできるようにと、シャツの左胸には必ず名前を書いたり、靴下の上には丸印をつけたりと続けています。こうすることで、本人も自分でできるという自信と、私自身も何回も聞かれるとか、できていないというストレスがなくなりました。障がいはその子、その子によって違いますが、本人のできることを尊重しながら、足並みをそろえて歩むことが大切だなと思っています。

最近の出来事

龍貴の頭頂部には、大きなこぶができているんです。先日、主人が「目立たないようにパーマをかけてはどうか？」と理髪店に相談したそうです。結果はダメだったのですが…。それは、主人が気になっていることで、龍貴は気にしていないのでいいんじゃないの？と話しました。

ほかには、ものすごく“歩数計”にこだわりがあり、常に持ち歩いています。それを畑に落としてしまい、こっそりと家を抜け出し山坂およそ20kmを自転車で探しに行ったのです。家から急にいなくなり暑い日だったので、途中で熱中症にならないかと心配しました。このことについては、しっかりと注意しました。

地域とつながる大切さ

龍貴には弟が一人、妹が二人の４人兄弟です。龍貴につきっきりで動くときには、隣のおばちゃんに、産まれたての子どもを見てもらったことがありました。小学生の時も、私が仕事で遅くなるときには、近所の家でみてもらったこともあります。学校の帰り道、雨の中傘を貸してくださった方もおられます。一番たすかったのは、高校生になった龍貴が夕方になってもなかなか帰らず心配になり、近所の方に「見んかった？」と声をかけたら、向こうとなり10軒の方が、車で地域中を探してくださいました。おかげさまで、見つかり安堵したのをよく覚えています。

近所の方に声をかけられたら嬉しいですし、見守られながら育ててこれたのだと思います。障がい者にやさしい町は、高齢者にも子どもにもやさしい町というお話を聞いたことがありますが、本当にそのとおりですね。お互いに見守ったり見守られたりの町になればいいなと思います。

川上地域では、障がいを持つ親の会があり、毎週集まり手芸や花壇の整備、季節の行事をされています。その中で日頃の悩みや情報交換がごく自然に行われ、そこには同じ悩みを分かりあえる仲間がおり、いつも前を向いて活動できることが、地域の強みだと思います。また、会には親だけではなく、地域の有志（おばちゃん）も手伝いに来られ、声をかけ合う姿が見受けられます。この様な、特別ではない、日常のつながりが、見守り活動につながっているのだと改めて感じました。

金子さんの「障がいは一人一人違うからね」という言葉を大切に、社協でも住民一人一人に寄り添いながら、地域福祉活動を続けていけたらと思います。

萩市社協　川上事務所

明るいお正月を迎えられるように応援します！

生活に困窮している方や社会的孤立状態にあり支援を必要としている方をはじめ、地域で暮らす誰もが安心して年末を過ごすことができるよう実施している応援金です。

歳末たすけあい運動で寄せられた募金を、支援を必要としている世帯に対し、明るいお正月を迎えられるよう応援金を贈ります。

今年も下記のとおり行いますので、内容をご確認いただき申請くださいますようお願いします。

●歳末たすけあい募金応援金（生活保護受給世帯は除く）

（１）生活困窮世帯、準要保護世帯

１世帯 ５，０００円、１人につき ３，０００円

※民生委員・児童委員、教育委員会等に照会します。

※申込み時における世帯全員の月収（年金・手当等含む）合計額が下表の基準額以下であることが条件です。

世帯人員	１人	２人	３人	４人	５人	６人	７人
基　準　額	102,000	150,000	182,000	228,000	272,000	315,000	358,000

（２）在宅介護者　５，０００円（現在次の家族を在宅で６カ月以上介護している主たる介護者）

①要介護３，４，５　②身体障がい者手帳１，２級　③療育手帳Ａ，Ｂ　④精神保健福祉手帳１，２級

※被保険者証または手帳の写しを添付してください。

●交通遺児応援金　18歳未満の交通、海難、航空遺児のおられる世帯

１世帯 ５，０００円、１人につき ５，０００円

●申込み方法

萩市社会福祉協議会本所・各事務所、萩市の総合事務所・支所・出張所にある備え付けの申込書を提出してください。

萩市社協ホームページ（https://www.hagi-shakyo.or.jp/）からもダウンロードできます。

●受付期間　10月11日㈫～12月16日㈮（最終申請締切日　12月28日㈬）

注）12月19日以降受付分については、年内の振り込みができない場合があります。

●交付期間　12月23日㈮～12月28日㈬

※コロナ禍のため、原則口座振込にて交付とさせていただきますので、申込みの際は振込口座の通帳をご持参ください。

令和４年度萩市地域福祉推進セミナー

本会では、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりが暮らしと生きがい、地域を共に創っていく地域づくりに向けて様々な取り組みをしています。

地域で誰もが安心して暮らし続けることのできる地域共生社会の実現に向けて本セミナーで考えることを目的としています。

また当日は萩市社会福祉協議会、萩市共同募金委員会の表彰・感謝式も行います。

誰にでも偏見はあります。見方が偏ってしまうのは、よく知らないから、身近に感じられないからです。ただ、偏見を取り除くのはそんなに難しいことではなく、むしろ楽しいことです。今回は、バリアが取り払われる快感を、視覚障害当事者で尺八奏者の安田知博が、萩の皆さんにお伝えします。

『私はこうやって　バリアを壊す』

日時：令和４年10月16日㈰
13：30～15：30（受付13：00～）

会場：萩市総合福祉センター　多目的ホール

講師：安田（やすだ） 知博（ともひろ）さん
（尺八奏者、フリーアナウンサー）

申込：萩市社会福祉協議会本所または各事務所へ電話やFAX、またはQRコードから申込み下さい。

＊新型コロナウイルス感染予防のため多目的ホールでの参加は先着100名とさせていただきます。
定員を超えた場合は、萩市総合福祉センター２階交流室１～４にて、オンライン配信での参加となります。

善意銀行 ありがとうございます

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。
※令和４年６月１日～令和４年８月31日受付分(敬称略)

香典返し・玉串料返し・花料返し

氏名	住所	備考	金額
萩			
松本　芳之	川島３区	母／中野信子	金一封
水津　満枝	大井円光寺	夫／良三	金一封
引地　敏夫	見島２区	母／徳子	金一封
伊藤　清美	熊谷町の１	夫／頼男	30,000円
溝部　良博	見島１区	父／良太郎	金一封
小畑　直道	見島８区	父／嘉道	金一封
匿名			10,000円
山村　信夫	新川南の１	母／アサコ	金一封
中原　守	大井馬場下	父／竹雄	金一封
梅月八重子	大井庄屋	夫／征人	金一封
伊藤　博道	大井馬場下	母／布子	金一封
松浦　康弘	大井後地	母／ユキエ	金一封
藤田　恭士	江向１区の１	父／恒久	金一封
田中　誠一	大島赤穂瀬前	父／隆	金一封
野村江津子	玉江２区の２	夫／良治	金一封
藤田　輝久	大井坂本	弟／正幸	金一封
山谷　清貴	中津江の２	義母／樋口睦子	金一封
大賀　晃治	椿		金一封
松村　幸子	土原２区の１	母／マサヨ	金一封
村田　幸枝	青海	夫／勝一	金一封
古屋　浩	相島上	母／シヅ子	金一封
川上			
藤田　典子	長谷	母／智枝子	金一封
藏貫　文男	遠谷	母／昭代	金一封
田万川			
須山　親友	小川18区	父／薫	金一封
日原　章	小川20区	父／一芳	金一封
岩本　弘司	小川13区	大伯母／沖島雪子	金一封
堀長加代子	尾浦	義母／スミヱ	金一封
炭屋　和利	小川15区	母／千里	金一封
齋藤　三正	小川３区	父／一小	金一封
むつみ			
伊藤紀美恵	広瀬下	夫／金正	金一封
佐々木藤一	大光寺	父／良雄	金一封
須佐			
山村　裕	山根丁東	母／美代子	金一封
久保田タカ子	高山	夫／泰司	金一封
工藤　岩槌	松原	妻／美恵子	金一封
仁保　節子	弥富７区	夫／榮	金一封
山﨑　貴幸	下三原上	父／登	金一封
岩本　三次	下三原上	母／トシ子	金一封
土谷　美月	山根丁東	母／茂子	金一封
旭			
山本加代子	高津	夫／巖	金一封
石津　泰良	原	母／静江	金一封
松田　三治	下市	母／スミ子	金一封
中村　信子	笛吹	夫／敬一	金一封
永田　隆浩	成川	父／忠久	金一封
福栄			
岩武　俊広	埼玉県さいたま市	母／綾子	金一封
岡　光子	紫福殿川	夫／一正	金一封
伊藤麻里亜	桜	母／陽子	金一封
鈴木　尚之	生野	父／實	金一封
佐々木　清	榎屋	父／信夫	金一封
佐伯みどり	東宗	夫／文男	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
匿名		社会福祉へ	10,000円
山中　修	江向２区の１	社会福祉へ	金一封
ささえあいみずぐるま	江向４区	社会福祉へ	2,050円
井本　剛司	東京都千代田区	社会福祉へ	金一封
匿名		社会福祉へ	7,000円
㈱ヤクルト山陽萩センター		社会福祉へ	23,100円
川上			
柴田　啓道	川上山田		金一封
田万川			
室谷　喬子	上中町	社会福祉へ	金一封
田万川地域ゴルフ大会実行委員会		社会福祉へ	10,000円
旭			
田上恵美子	成川	社会福祉へ	100,000円

（香典返し・一般寄付合計　71件　1,605,863円）

令和４年９月８日、㈱ヤクルト山陽萩センター様より、８月中に販売された「Yakult1000」と「ヤクルト400」類の売り上げの一部のご寄付をいただきました。

田上恵美子様から「地域の皆様のご愛顧により長年にわたり菓子製造を続けることができました」とご寄付をいただきました。

物品寄付

米、未使用切手、未使用テレカなど

善意銀行は地域福祉活動推進の貴重な財源になっています。どうかご協力ください。

お　知　ら　せ

交流カフェ行事

簡単飾りづくりを一緒にしてみませんか？お友だち同士で、親子で、是非ご参加ください。
ハロウィンといえば！の合言葉でお菓子をもらおう♪
＊当日、託児もできます。

日　　時　10月15日（土）10時～12時
講　　師　原川　里美さん
場　　所　萩市総合福祉センター２階　交流カフェ
参 加 費　１人300円（材料費）
定　　員　10名程度　＊先着順
申 込 み　萩社協ボランティアセンター（☎0838-22-2289）またはQRコードから申込み下さい。
締 切 り　10月11日（火）まで

スマホ活用講座 ～キャッシュレス決済～

普段の生活の中でデジタル化が進み、萩市内でもキャッシュレス決済に対応した店舗が増えてきました。キャッシュレス決済の機能や使い方を学んで、生活をより豊かにしていきましょう。

日　　時　10月24日（月）13時30分～15時30分
場　　所　萩市総合福祉センター　多目的ホール　東
内　　容　キャッシュレス決済の機能や使い方
対 象 者　萩市在住でスマホをお持ちの方
　　定員 20名　※定員になり次第締め切り
申 込 み　萩市社会福祉協議会 地域福祉課（☎0838-22-2289）
QRコードからも申込み下さい。

ボラ活 はじめの一歩

余暇などにボランティア活動をしてみたいと考えている方を対象に、ボランティア活動へのはじめの一歩をサポートする講座を全３回で開催します。わくわくベースをきっかけに、ボラ活へのはじめの一歩を踏み出しませんか？

【第１回】　10月12日（水）10時～12時
基礎講座　「ボランティアってなに？」
場　　所　わくわくベース（萩・明倫学舎４号館）

【第２回】　10月12日（水）～12月７日（水）
実践講座　「ボランティア活動に参加してみよう」
場　　所　萩市内

【第３回】　12月８日（木）10時～12時
振り返り・交流会
場　　所　わくわくベース（萩・明倫学舎４号館）

対象　余暇などにボランティア活動をしてみたいと考えている方、すべての講座に参加できる方
主催　わくわくベース　　**共催**　萩市社会福祉協議会　　**参加費**　無料
定員　10名程度　　**申込み**　わくわくベース　☎070-2161-8989またはQRコードから申込み下さい。

シリーズ20 ボランティア活動紀行

萩市内で行われているボランティアの活動をシリーズでお伝えしていきます。

一歩一歩、コツコツと
山口県立萩商工高等学校ボランティア部

HAGI はぎ No.39

校外の清掃活動中、地域の方が「お疲れ様」「ありがとう」とよく声をかけてくれます。この言葉がとても励みになり嬉しくなります。「ボランティアには人を笑顔にする力があり、地域貢献できているのだな」と思うと、楽しくてとてもやりがいを感じています。

コロナ禍で活動が制限されていますが、私たちボランティア部は、校内ではペットボトルキャップや使い捨てコンタクトレンズケースの回収を行っています。また、世界の難民に送るための子ども服の回収も行っています。もしご家庭に不要な子ども服があれば学校へお持ちください。

今後、私たちにできることは何かを考え、学校や地域のために取り組んでいきたいと思います。見かけたときには声をかけてくださいね。

みんな笑顔で
JA山口県萩女性部高俣支部

MUTSUMI むつみ No.40

元々はJAの活動が主ですが、今では、むつみ地域の大切なボランティア団体の一つです。特に地区社協の大切な事業である「ふれあい給食」を作ったり、あるいは「高齢者訪問」をしたりするなど、地域に貢献しています。

JAとしての活動も大切にしていますが、ボランティアも楽しみながら活動しています。「笑顔で行うことができるのは、みんなが元気だから。地域が元気だと笑顔も増えるよね」と会員同士で話しています。

これからも、むつみ地域を元気にしていきます！

赤い羽根共同募金

みんなの思いが つながる 助け合う

「赤い羽根共同募金」に関心を持っていただくことを目的として始めた、萩市共同募金会での寄付金つきオリジナル商品の販売には、多くの方々にご協力をいただいています。

皆さんから寄せられる赤い羽根共同募金は、地域の子どもたち、高齢者、障がい者や民間社会福祉団体、施設などへ助成され、萩市の「未来を笑顔に」する活動に役立てられます。

赤い羽根萩にゃん。

ひとつの商品につき90円～500円が寄付されます。

「自分のまちを良くするしくみ」にご協力をお願いします！

詳しくは、社協 HP（QR コード）または Facebook をご覧ください。

～地域交流サロン～

「赤い羽根食堂」オープン！

赤い羽根食堂は、企業や個人の方から食材の提供をしていただき、10月の毎週木曜日に行います。お誘い合わせのうえ、お越しください。この収益は、共同募金の寄付金となります。

募金にご協力ください。

開催場所：萩市総合福祉センター ２階 交流カフェ
日　　時：10月の毎週木曜日 11：00～13：30頃
金　　額：500円
主催団体：萩市社会福祉協議会

メニュー

6日	カレー、さつまいもスティック
13日	皿うどん、フルーツポンチ
20日	赤い羽根ランチ
27日	牛丼、味噌汁

毎回150食限定

※内容に変更がある場合があります。

12月23日（金）11：00～13：30頃

1日限定「赤い羽根クリスマス食堂」オープンを予定しています。お楽しみに♪

発行　社会福祉法人　萩市社会福祉協議会　http://www.hagi-shakyo.or.jp/
〒758-0041 萩市江向510　TEL 0838-22-2289　FAX 0838-22-2026
【本　所】0838-22-2289【川上事務所】0838-54-2645【田万川事務所】08387-2-0277【むつみ事務所】08388-6-0237
【須佐事務所】08387-6-2204【旭 事 務 所】0838-56-0856【福栄事務所】0838-52-0338